



八小だより

令和7年度 第10号



八幡小学校

令和8年2月6日

校長 篠原 督人

学校に戻った子どもたちの笑顔

立春が過ぎ、暦の上では春となりましたが、まだまだ全国的には厳しい寒さや大雪のニュースも聞かれます。本校でもインフルエンザの流行により、先日まで多くの学年で学年閉鎖を余儀なくされましたが、今では子どもたちの元気な声が校舎に戻り、学校には再び活気があふれています。改めて、日常の学校生活の大切さを実感する日々です。

プログラミング学習

1・2年生の児童が、思考力育成教材「アルゴリズム」を使って、プログラミング体験ゲームに取り組みました。キャラクターをゴールまで動かすために、「どの順番で」「どんな動きを指示するか」を友達と相談しながら考え、楽しそうに活動する姿が見られました。試行錯誤を重ねる中で、うまくいったときには歓声が上がリ、失敗しても「次はこうしてみよう」と前向きに挑戦する様子が印象的でした。この学習を通して、論理的に考える力や粘り強く考え抜く力を育むことができ、プログラミング学習への興味・関心も高まっています。



みんなでボールを追いかける、温かな昼休み

6年生の呼びかけで、昼休みに全学年が運動場でサッカーを楽しんでいます。上級生が下級生を気遣いながらプレーする姿が印象的で、学年を越えたつながりが広がっています。子どもたちの笑顔があふれる、温かい昼休みの時間です。



学習発表会の練習頑張っています!

学習発表会の開催予定日が、衆議院議員総選挙の実施に伴い1週間延びて、2月14日になりました。しかし、子どもたちは日々の練習に一生懸命取り組み、発表に向けて気持ちを高めています。限られた時間の中でも、仲間と声を掛け合いながら動きを合わせたり、セリフや歌に磨きをかけたりする姿が見られ、どの学年も本番に向けて着実に成長しています。延期した分、さらにすてきなステージをお届けできることと思います。当日をどうぞ楽しみにお待ちください。

